

株式会社ジェイコムさいたま 東上局 2015 年度放送番組審議会 議事録

2015 年度 第2回の放送番組審議会は 2016 年 3 月 24 日(木)にジェイコムさいたま東上局で開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席者 (五十音順)

岩 下 隆 様	梶 里 美 様
高 橋 健 治 様	原 鉄 郎 様
水 野 美 代 子 様	

ご欠席者

堀 江 肇 様

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みにつき、報告があった。

【審議 質疑応答】(原会長による進行)

■『デイリーニュース』について

(委員)

地上波では放送されない市議選候補者の意気込みなどを取材放送されるとよい。

ふじみ野市の市長会見は市民の関心事が観れてよい。他の市長会見の放送を希望する。

中学生の職場体験で J:COM での番組づくり体験はテレビにも出演できるので良い思い出になる。こういった企業活動を続けてもらいたい。全体的に番組の質も高く、MC が話すコメントも高齢者にとって聞きやすい。

J:COMに取材放送してもらおうと地域が活発化する。富士見市の音楽フェスタでは特集まで組んで放送され、イベントの全内容が観ることができてよい。近隣の所沢の内容も知ることができる。

週番組と異なりデイリーニュースは取材した日に放送されるので情報が新鮮である。

子供を取材すると本人や親だけでなく祖父母も観てくれて喜んでもらえる。

私の父は民放には全く興味が無く、J:COM を観ているが年配向けの番組が少ないので増やしていただきたい。民放番組に比べスタジオセットが絵的にさみしく、暗いイメージを受ける。季節の花を置けば季節感が出て良いと思う。

■『ぐっと東上』について

(委員)

通常のスタジオからの放送ではなく編集室からの放送の回があり、普段は観ることができない裏舞台を知ることができた。

取材を受けていた市民の方も笑顔で出演され、番組が放送されることで一層市民活動が活発になると思う。

市が運行するバスルートにあるローカル情報を取り上げてもらいたい。バスを利用した「途中下車の旅」みたいなものを企画してみてはどうか。地域を再発見できるかもしれない。

食レポでは郷土資料館が紹介されたが、館長の説明があるとさらに良いと感じた。グルメ情報はつい観てしまうので番組で取り上げてもらいたい。レポーターが口に食べ物が入ったまま話をするのが気になった。

8月に開催する「いろは商店街の歩行者天国」のイベントの舞台裏をメイキング的に紹介してみてもどうか。

本番組は取材から放送までにどの位かかるのか？

(制作担当)

本番組は月曜日更新の番組のため週末に取材した場合、早くても7日後の放送となる。

■その他のご意見

(委員)

今後、幼稚園を取材対象とした企画はあるのか？

(制作担当)

昔と違い、今はテレビに映りたくない子供(親の希望)もいる。映らないように撮影するのはとても難しい。小学校は撮影の理解はあるが、幼稚園の理解を得ても撮影条件が厳しいのが現状である。

(会長)

園長が許可を出しても担任が断ってきたり、映るなら全員でといった先生の要望があり、なかなか実現できないと聞いている。また、個人情報の観点から子供たちの名札が映るので、取材を断られるケースもあると聞く。幼稚園に関してはテレビだけでなく、HPでも注意が必要。

(委員)

彩夏祭では暑い中の取材となるが是非今年も取材をお願いしたい。

閉会(事業者)

本日は各委員からの貴重なご意見、ご要望をこれからの番組制作に活かしていくと共に、

更に期待され観ていただけるチャンネルとなるよう努力していく所存である。

以上